

ヘグラシモフリコメツキ コウチュウ目コメツキムシ科

Actenicerus suzukii hegrensis (Kishii)

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

選定理由

舩倉島で採集された個体をタイプ標本として記載された舩倉島特産亜種であるが、記載以降の記録がなく、絶滅が危惧されている。

形態

体長12.5mm、幅3.8mm。Kishii (1964) は、原亜種 *A. suzukii suzukii* (Miwa) と比較して、体が少し幅広くわずかに盛り上がること、触角がより細長いこと、前胸背板中央部にある縦長の平圧部が幅広く、より明瞭であること、上翅の間室にある点刻がやや大きいことなどの相違点を根拠として、亜種として記載している。

国内分布

石川県舩倉島にのみ分布するが、現在も生息しているかは不明である。

生態

詳細は不明である。

生息地の条件

詳細は不明である。

生存の危機

本亜種記載当時の舩倉島には樹木が生育していたようであるが、現在ではそれらの大部分が枯れてしまい、生息していない可能性も高い。小さな島に特化した亜種であることから、環境改変は本種の生存に致命的な打撃を与えることになる。本種の保全には、島全体の植生を記載当時の状況に復元することが重要と思われる。

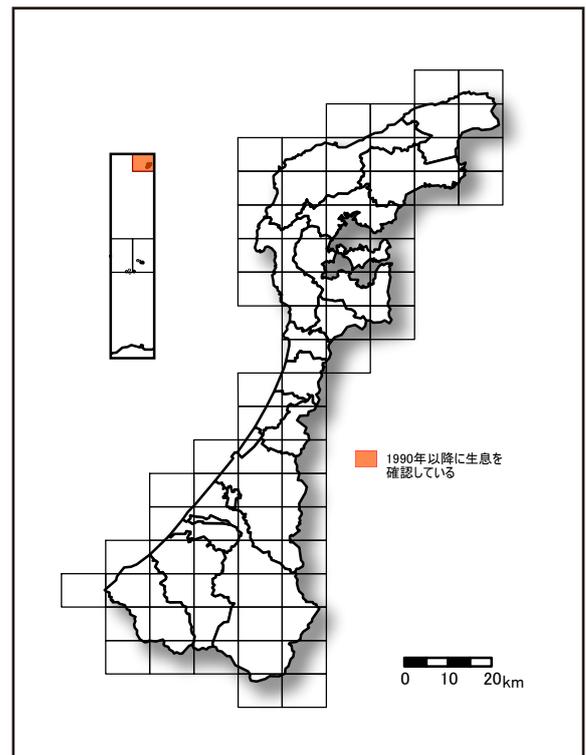
特記事項

舩倉島が本亜種の基産地である。現在の生息状況を調査する必要がある。

参考文献

Kishii, T. 1964. Elateridae of Island Awa-shima, Hegura-jima and Nanatsu-jima "The Snappers of Islands (IV)". Bull. Heian High School, (8) : 1-39.

写真(図)はありません。



県内の分布